

#### 4 個別の労働問題への取組

労働者の個別の労働問題に「取り組んでいる」労働組合は92.6%[前回91.6%]となっており、取組の方法（複数回答）をみると「各職場毎に職場委員等を設置」58.3%[前回57.9%]が最も多く、次いで「労使協議制度を通じて関与」57.8%[前回69.1%]、「苦情処理制度を通じて関与」29.1%[前回30.1%]などとなっている（第10表）。

第10表 労働者の個別の問題に関する取組状況別割合

(単位：%)

区 分	計	取 り 組 ん で い る	取組の方法							取 り 組 ん で い な い
			各 職 場 毎 に 職 場 委 員 等 を 設 置	自 ら 対 し て 窓 口 等 を 設 置	争 訟 に 対 し て 窓 口 等 を 設 置	上 部 職 員 に 対 し て 窓 口 等 を 設 置	個 別 組 織 に 対 し て 窓 口 等 を 設 置	労 使 協 議 制 度 を 通 じ て 関 与	苦 情 処 理 制 度 を 通 じ て 関 与	
計	100.0	92.6	58.3	22.5	26.7	57.8	29.1	14.7	6.6	6.0
< 企 業 規 模 >										
5,000 人 以 上	100.0	95.7	62.4	39.8	50.4	56.7	47.2	26.7	7.0	3.2
1,000 ～ 4,999 人	100.0	96.2	65.3	23.3	31.3	62.5	35.3	18.2	4.2	3.1
500 ～ 999 人	100.0	87.8	58.8	19.4	23.8	49.8	26.4	12.1	5.1	9.2
300 ～ 499 人	100.0	94.7	61.8	17.8	13.8	62.1	23.7	7.1	6.9	4.9
100 ～ 299 人	100.0	89.7	53.1	13.4	11.1	61.4	17.9	6.7	7.3	8.6
30 ～ 99 人	100.0	87.0	45.2	7.3	8.7	48.7	7.4	5.5	9.2	10.8
< 労 働 組 合 の 種 類 >										
単 一 組 織 組 合	100.0	95.1	62.5	27.2	36.8	60.3	35.3	18.3	5.7	3.8
本 部 組 合	100.0	95.5	68.6	29.6	22.0	65.6	34.6	19.1	4.2	4.0
支 部 等 の 単 位 扱 組 合	100.0	95.0	61.5	26.8	39.2	59.4	35.4	18.2	6.0	3.8
単 位 組 織 組 合	100.0	88.8	52.0	15.2	11.2	54.1	19.7	9.3	7.9	9.4
単 位 労 働 組 合	100.0	92.3	57.4	21.8	27.1	57.1	28.6	14.3	6.8	6.2
< 正 社 員 以 外 の 労 働 者 の 有 無 >										
正 社 員 以 外 の 労 働 者 が い る	100.0	93.3	59.4	22.9	26.4	58.9	29.4	14.6	6.7	5.4
正 社 員 以 外 の 労 働 者 が い な い	100.0	79.9	40.6	15.2	31.5	39.3	24.5	16.7	5.2	16.0
平 成 20 年 計	100.0	91.6	57.9	18.8	19.1	69.1	30.1	13.0	6.2	7.4

注：1) 表頭「計」は「不明」を含む。

2) 都道府県労働局や都道府県の機関、裁判所（労働審判制度の利用など）を含む。